

ロボット共存時代の足音

大学を定年退職して以降、シニア割引の恩恵もあり、妻と映画館へ足を運ぶ機会が増えた。先日、ある映画会社のウェブサイトで、是枝裕和監督、綾瀬はるかと千鳥・大悟のダブル主演による『箱の中の羊』という作品を見つけた。亡くなった息子の姿をした「ヒューマノイド」を迎え入れた夫婦の葛藤と予期せぬ未来を描いたヒューマンドラマであり、早速鑑賞候補リストに加えた。



折しも先日、東京でアジア初となる「ヒューマノイドサミット」が開催されたとのニュースが報じられていた。急速に進化する人型ロボットの実用化に向け、世界約30の国と地域から研究者や企業関係者など約2,000人が集い、開発の現状と今後の展望について議論が交わされたという。ヒューマノイドと聞いて私の脳裏に浮かぶのは、幼少期にテレビでよく観ていた手塚治虫原作のSFアニメ『鉄腕アトム』である。しかし今や、ロボットとの共存時代がそう遠くないと実感させるほど、近年の技術革新には目を見張るものがある。例えば、人間とヒューマノイドによる「10時間連続仕分け対決」では、人間が休憩を挟みつつも1万2,924個を仕分け、192個という僅差でかろうじて勝利した。荷物1個の仕分けに要する時間は人間が2.79秒に対しロボットが2.83秒と、その能力は伯仲していた。また、中国の「春節聯歓晩会」（日本の紅白歌合戦に相当）で披露された、12体の二足歩行ロボットによる一糸乱れぬカンフーのパフォーマンスにも圧倒された。さらに最近では、2体のロボットが事前の通信やコードによる指示なしに、カメラ映像のみから状況を判断し、互いを補助し合いながら布団や衣類を整理する家庭用ロボットの開発も進んでいるという。

こうしたロボットの台頭は、医療分野でも顕著である。外科医不足や医師の働き方改革を背景にロボット支援下手術への関心が高まるなか、この6月の診療報酬改定においてはロボット支援下内視鏡手術の適応追加と加算が見直された。医療機器の効率的な活用や高額機器の集約化を促す観点から、悪性腫瘍手術などを対象に、支援機器を用いた手術症例が年間200例以上ある場合の評価が新設され、15,000点の加算が認められた。また、代表的なcommon diseaseである鼠径ヘルニア手術が対象に追加されたことには新鮮な驚きを覚えた。

多くの施設が経営難に直面するなか、高額な手術支援ロボットによる手術をいかに継続していくかは大きな課題である。しかし、かつて開腹手術から腹腔鏡手術へと移行したように、時代は今、腹腔鏡手術からロボット支援下手術へと確実に移り変わっている。

(船橋公彦)

顧問 今村正之 山崎洋次 幕内雅敏 名川一弘

亀岡信悟 國土典宏 幸田圭史 佐野 武

編集 長谷川 潔 船橋公彦 山下裕玄

臨床雑誌 外 科	第88巻 第7号 (7月号)	2026年7月1日発行 (1113号)
編集兼発行者	東京都文京区本郷三丁目42番6号	小 立 健 太
印刷所	東京都千代田区飯田橋二丁目7番3号	日経印刷株式会社

発行所 ☎ 113-8410 東京都文京区本郷三丁目42-6 (営業) TEL 03-3811-7239 : 振替口座 00120-1-149 番
株式会社 南江堂 (編集) TEL 03-3811-7619 FAX 03-3811-8660 <https://www.nankodo.co.jp/>

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物の利用に関する原作者の権利は、株式会社南江堂が保有します。

・JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail : info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

広告申込所 : ☎ 113-0033 東京都文京区本郷5丁目24番6号本郷大原ビル6階 文京メディカル TEL 03-3817-8036